



もっとうまくなりたいを原動力に、大舞台に挑戦

令和5年度県社会人野球ベストナイン表彰
渡邊学賞 受賞

高橋 凌平 さん

たかはし・りょうへい 22歳 〓 帷子 〓



平成14年生まれ。平館高卒、現在はJR盛岡硬式野球部に所属し背番号は14。投手(右投げ)で武器は「綺麗なストレート」。趣味は筋トレと音楽鑑賞。自分の性格を「心配性」と分析。好きな言葉はゲームで知った「前向きになれば、前向きな未来が描ける」。

「こんな輝かしい賞に選ばれることは無かったので、自分が一番驚きました」と笑顔を見せるのは、昨年12月に行われた5年度県社会人野球ベストナイン表彰の表彰式で、活躍した若手選手に贈られる渡邊学賞を受賞した高橋凌平さん。JR盛岡硬式野球部に所属し、今シーズンは投手として5試合に登板、18回で防御率0.00を記録するなど、規定投球回数80以上の投手の中でナンバー1の成績を挙げたことが評価された。

兄とキャッチボールしたりと、小さな頃から野球に親しんでいた高橋さんが寺田野球スポーツ少年団に入団したのは、小学校2年の時。当時を知る関係者は「うまいという程ではなかったかな」と振り返るが、中学3年時には地区選抜に選ばれるまでに実力をつける。練習時間の確保も考え、地元の平館高校に進むと、今も恩師と慕う小林哲雄先生(現・平館高野球部監督)に出会う。「自分をピッチャーとして使い続けてく

れた。おかげで成長できたし、社会人野球の選択肢も提案いただいた」と、今も感謝しきれない。好きな野球を、働きながら続けることを心に決め、JR盛岡硬式野球部に入部。体の使い方など、今まで深く考えていなかった部分も意識して、練習と向き合った。迎えた高卒4年目、先発を任されたJABA岩手県野球連盟定期リーグ戦の初戦では、初完封かつマダックス※を達成し、自らの成長を実感する23シーズンとなった。

勤務先では新幹線の保守業務を担当しながら、週末に野球と向き合う高橋さんの目標は、都市対抗野球の本戦出場。「これまで以上に深く野球のことを考えて練習に取り組みたい」とさらなる高みを目指す。



緩急を織り交ぜたピッチングで勝負する高橋さん

※マダックス：投球数100球以内で相手打線を完封すること

【広告】

不眠症、自律神経症、不安神経症、眼・視力の悩み

薬のプロフェッショナルが
あなたのご相談を承ります

漢方のあさひ薬局

西根中学校前店(旧 西根病院前)

八幡平市大更24-1-118(西根中学校前) TEL.0195-70-2311

■編集後記

▽キラリで紹介した高橋凌平さん。人当たりがとてもしっかりな人ですが、平館高3年時には、夏の県予選2試合に先発出場。初戦で同校4年ぶりの勝利を挙げると、次の相手は花巻東高。真向勝負を挑んだその試合は、今でも関係者の話題に上がるそうです。
▽ハイゼックス炊飯。恥ずかしながら、西根中を取材して初めて知りましたが、今回は専用の炊飯袋を使用しましたが、熱に強いビニール袋でも代用できるそうです。防災グッズの準備はもうそろそろですが、その場にある物で賄うための知識も必要だと感じました。

①

※広報はちまんたい3月7日号(No.345)の印刷経費は1部90.45円、発行部数は9,755部です。経費の一部は広告料で賄われています。広告掲載については、(株)総合広告社(☎019-626-3370)まで。

